

「第21回 議会報告会・市民との意見交換会」での、市民からのご意見への行政の回答

<p>1</p> <p>回答所管課 安心安全課 土木課</p>	<p>Q. 【道路の安全の確保】 知立中学校北西の角の5差路交差点において一時停止を無視する車両が後を絶たない。いつ何時住民が子供がはねられる可能性が高く、早急に改善を訴える。</p>
	<p>【安心安全課】 一方通行、速度規制、信号機設置につきまして、知立市の判断により行えることではなく、公安委員会での判断となります。また、規制は周辺住民の為のものであり、その周辺（会社等含む）の承諾が必要となります。周辺地区全体の問題であり、地域住民の総意が必要となりますので、その点のご理解をお願いします。つきましては、区長様より要望していただき書面で提出いただければ、市から警察へ提出させていただきます。</p> <p>【土木課】 ガードレールの新設のご要望につきまして、現地の交差点付近の道路幅員や線形等の道路状況から、ご要望の箇所への防護柵の設置は、通行する車両同士や車両と歩行者・自転車等が交錯してしまう状況が想定されること、また十分な歩道や車道の幅員が確保できなくなることから、かえって危険な状況となる可能性があることが考えられ、現状においては非常に難しいと判断されます。防護柵の設置につきましては、ご提案されています交通規制等と合わせて、地元町内会や安城警察署等と十分な協議のうえ、総合的に判断する必要がありますと考えられますので、地元町内会の区長様へご相談ください。 なお、市民の方からのガードレールの新設などの土木工事の要望につきましては、各町内会の区長様を通じて、毎年9月末までに各町の要望として土木工事申請を提出していただいております。この土木工事申請につきましては、各町内に要望箇所の選定と優先順位を決めてご申請いただき、市が要望全箇所の現地の状況等を確認のうえ、緊急性・危険性・公共性及び各町内における優先順位等を総合的に勘案し、採択か否かを決定し、翌年度工事の実施という運びとなります。 申請されましたご要望につきましては、全て採択したいところですが、限られた予算の中で様々な条件を勘案のうえ、各町内における採択箇所を決定させていただいております。そのため、今年度の予算につきましては、昨年度の土木工事申請をしていただきました採択箇所のための予算を確保しているものであるため、大変恐れ入りますが、すぐに対応できるものではないことをご理解ください。 大変お手数ではありますが、地域の地元町内会役員様を通じ地元町内会の区長様に、平成30年度工事の要望として、市に要望していただけるようご依頼ください。</p>

<p>Q. 【知立駅前および上重原への企業誘致】          現在、駅前には大型マンションの建設が始まったが、財政確保のためには、企業誘致による法人税の収入が必要だと考える。今後の方針は？</p>	
2	<p>回答所管課          企画政策課          都市開発課</p> <p>【企画政策課】（上重原）          企業誘致による法人市民税の収入増が歳入確保の方法のひとつとして有効であると考えられますが、それは土地利用をどのように考えるかということになります。このため、上重原北部地区は総合計画及び都市計画マスタープランにおいて、産業ゾーンと位置付け新たな産業の誘致に取り組んでいるところです。今後も、地権者との合意形成を図るとともに地権者への支援措置や進出企業に対する優遇措置の適用により、企業誘致のための土地の確保及び基盤整備を促進するこれまでの姿勢と大きな変更はありません。</p> <p>【都市開発課】（駅周辺）          知立駅周辺では土地区画整理事業と連続立体交差事業を主体とした都市施設の整備が進められ「まち」が大きく変化しています。          知立駅前地区は商業地域に指定されており、駅利用者やまちなか居住者を対象とした駅前に相応しい土地利用を想定しています。その中でにぎわいを作り土地利用を進めていただくことで財源確保につなげたいと考えています。</p>

<p>Q. 【知立駅ホームにおけるホームドアの設置】          乗客のホーム内での線路への転落予防を考えているのか。</p>	
3	<p>回答所管課          都市開発課</p> <p>転落防止対策として内方線付き警告ブロック（黄色い点状ブロック）を設置します。</p>

<p>Q. 【巡回ミニバスの一方通行でなく逆方向も考えては】 知立駅へ行くのに10分、帰りは約40分と利用するには不便である。</p>	
4	<p style="text-align: center;">回答所管課 まちづくり課</p> <p>ミニバスの運行について、平成28年度は29万人を超える方が利用いただき大変好評をいただいています。その一方で、「時間がかかりすぎる」、「本数が少ない」等の意見をいただいています。 バスの台数や運行本数を増やすことは運行経費にかかわることなので慎重に議論する必要があります。なお、1台のバスで逆周りも実施するためには、バス停を往復で設置する必要があり、従来周りでの運行本数が半分になることや利用するバス停がわかりづらくなる等の課題があります。</p>

<p>Q. 【知立駅周辺整備事業について】 知立駅周辺整備事業により、今後どのような事業効果が見込まれるか。経済効果、人口推移など試算はされているか。</p>	
5	<p style="text-align: center;">回答所管課 まちづくり課 都市開発課</p> <p><b>【まちづくり課】</b> 知立駅北地区市街地再開発事業を実施しております。 再開発ビルの主な概要は、住宅107戸、駐車場199台、商業床1843㎡となります。 人口推移の算定では、住宅107戸に標準モデルにおける世帯あたり人員2.5人を掛け合わせた267人が見込まれます。 また、税収効果においては、負担面として、再開発事業を行なうことによる、事業への補助金や人口が増加することによる行政サービス費の増加が考えられますが、収入として、固定資産税や市民税等の増加が見込まれます。結果として、事業完了からおおよそ12~14年程度で、補助金等の負担分を回収し、その後は黒字に転換すると想定しています。</p> <p><b>【都市開発課】</b> 経済効果としましては、連続立体交差事業、駅周辺土地区画整理事業などは、事業の投資額に対する便益として評価しているものの、社会通常で言われる経済効果としては算出しておりません。しかし、鉄道の高架化や道路整備によって交通渋滞が緩和されることが期待され、そのことによる経済効果は大きいと推定されます。 人口推移は、知立駅周辺地区の多くは、用途として商業地域に指定されているため、整備の進捗により高度な土地利用が期待されます。そのことにより一般的な定住人口だけでなく、まちとしての昼間人口も増加する見込まれます。</p>

<p>Q. 【建設水道】          駅北地区、西新地区に関するQ&amp;Aについて、総合的に考えたい。との回答だが、具体的な議論の内容を伺いたい。地元の商業（納税者）との十分な意見交流を行われているのかを知りたい。</p>	
6	<p>回答所管課          まちづくり課</p> <p>事業化しております知立駅北地区市街地再開発事業の商業床は、すべてが個人の権利床となります。入居する事業者は一定のルールに基づき権利者と契約することになります。          西新地地区においては、まだ事業化されておきませんので事業化の折には、商工会等と店舗の規模や地元の参入について協議してまいります。</p>

<p>Q. 【昭和未来会議について】          今年度予算7,413千円が計上されているが何に使われるのか。コンサル費用だとしたらムダのように思われる。無理やり何らかの方向性を出そうとしているように思われる。地元の住民がもっと参加できるような工夫が必要なのではないか。そもそも、未来会議の目的は何かわからなくなっている。</p>	
7	<p>回答所管課          福祉課</p> <p>昭和未来会議は、「若者にとって魅力ある昭和」「みんなが安心して暮らす昭和」をコンセプトとして、昭和地区の未来づくりに向けて、地区の市民の方々と、共通の理想の未来のために「やってみたいこと」について平成28年度に引き続き実施していきます。          このほかに「地域住民同士の情報共有」「行政や関係者との情報共有の場」としても、地域の市民がどなたでも参加しやすい会議だと考えています。          会議の方向性が、分からなくなってしまうように、この会議の目的、これまでのおさらいを毎回会議の初頭でお伝えする等、毎回参加できない方や初めての方にも広く参加いただけるように資料作成や会議の進め方を工夫しています。そのようなノウハウがある業者に昭和未来会議の運営を支援する業務を委託しております。          平成29年度予算は、7,413千円は、昭和未来会議運営支援する費用、地域情報のPR用情報サイトの作成、地域情報を発信するための情報紙等の作成、PR情報サイトや市のHPに掲載する地域PR動画作成を予定しています。</p>